



景況感は横ばいの見通し

——経営上の問題点は競合・競争の激化が多数

景況見通し調査

調査概要

【調査時期】平成18年9月22日(金)～26日(火)
 【調査方法】ファックスにより送付、回収
 【調査対象】福井商工会議所 会員事業所 (小規模事業所) 2,200社
 ※小規模事業所…製造業・建設業・運輸業の内、従業員20人以下の事業所および卸小売業・サービス業・その他の内、従業員5人以下の事業所
 【回答企業】502社 (回収率:22.8%)
 【内訳】繊維製造業 28社 (5.6%)
 食品製造業 4社 (0.8%)
 その他製造業 73社 (14.5%)
 建設業 159社 (31.7%)
 卸売業 86社 (17.1%)
 小売業 48社 (9.6%)
 サービス業 77社 (15.3%)
 運輸業 10社 (2.0%)
 その他 17社 (3.4%)
 合計 502社 (100%)

※今回より本調査は調査対象を変更しています当所9部会委員350社↓当所会員事業所内の小規模事業所2,200社。この調査は毎年3月6月9月・12月の年4回行ない、3ヶ月ごとの短期的な景況動向を把握するため実施しています。

平成18年9月調査 総括

① 小規模事業所の景況感

「やや悪い」「悪い」の意見が半数以上
 国内の現状の景況については、「やや悪い」「悪い」と答えた事業所が全体の約半数を占める結果となった。
 それぞれの業界内の現況では、「やや悪い」「悪い」が全体の6割以上。今後3ヶ月についても、現状と同程度の結果となり、ほぼ横ばいとの見通し。

② 売上(出荷)高・採算状況

卸小売業「やや悪い」「悪い」の意見が多く見られる

現状・今後共にマイナスの意見が多い。今後については、現状よりも「やや悪い」「悪い」の回答が多くなり、特に建設業・卸小売業について、下方予測の意見が多かった。

③ 仕入単価

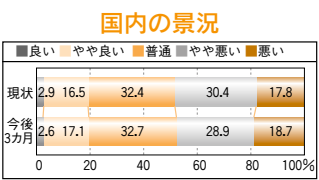
製造業で特に上昇傾向
 仕入単価の現状では57.9%。今後では56.5%が「上昇」と回答した。今後の仕入単価の上昇を懸念している事業所が多い。特に製造業では現状で70.6%が「上昇」とする回答結果であった。

④ 経営の問題点は「受注量の不足・同業他社との競争激化」「価格競争激化」

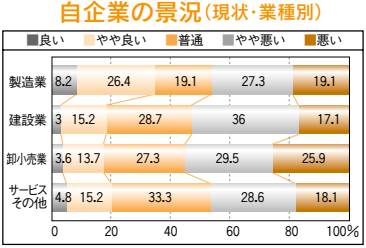
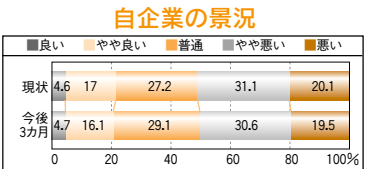
今回より内部要因と外部要因に分けて回答を求めたところ、内部要因は、「受注量の不足」が48.2%と一番多く、続いて「人材の確保・育成」が40.8%、「販売力不足」が36.5%と続いている。
 一方、外部要因では「同業他社との競争激化」「価格競争激化」がそれぞれ高く、続いて「ガソリン等燃料の高騰」が問題点として挙げられた。

国内の景況感

「やや悪い」「悪い」と答えた事業所が全体の約半数を占めている。今後3ヶ月の景況も現状とほぼ同じ割合で横ばいの状態が続くと予測している。

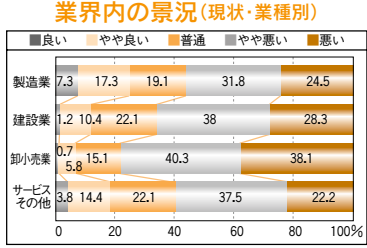
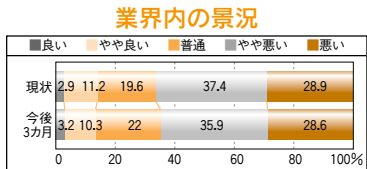


自企業の景況感



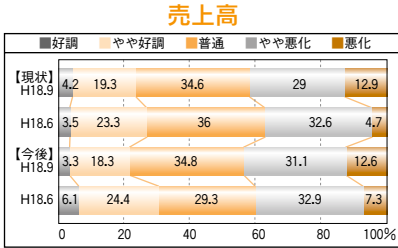
業界内の景況感

全体の結果として、「やや悪い」「悪い」が6割以上を占めた。業種別では、建設業で66.3%、卸小売業では78.4%が「やや悪い」「悪い」と答えていた。一方で、製造業では「良い」「やや良い」と回答する事業所が24.6%と他業種に比べ若干良好な傾向が出ている。



売上(出荷)高

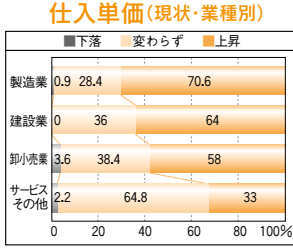
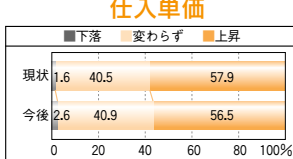
対象が異なるので、一概に比較は難しいが、前回調査を参考にすると、「やや悪化」「悪化」の割合が増えており、事業所規模が小さいほど厳しさがうかがえる内容となった。
 また、DI値についてみると、現状についてはマイナス18.4ポイントであり、今後についてはマイナス22.1ポイント。現状・今後共に悪化を懸念している事業所が多いことがわかる。



※参考として、調査対象は異なるが前回の調査のデータを掲載する。
 前回調査時の売上現状DI値-10.5ポイント、売上今後DI値-9.7ポイント
 ※DI値=(良い+やや良い)-(悪い+やや悪い)
 DI値とは…ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」「好転」した等とする企業割合から、「減少」「悪化」した等とする企業割合を差し引いた値である。

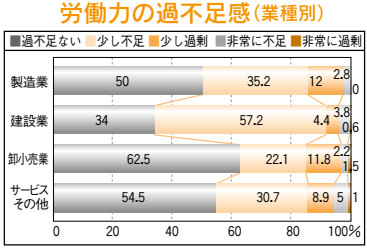
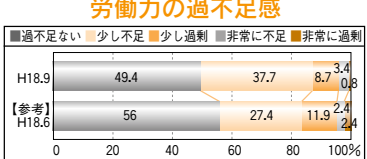
仕入単価

現状の仕入単価については、57.9%が「上昇」と答えており、今後についても56.5%が「上昇」と回答。仕入単価の上昇を懸念している事業所が多い結果となった。業種別で見ると、特に製造業について「上昇」と回答する事業所の割合が高い。



労働力の過不足感

約半数の企業が「過不足ない」と答えているものの、「少し不足」との回答も多い。業種別では、卸小売業で「過不足ない」との意見が多い一方、建設業では57.2%が「少し不足」と回答し、人員の不足感が出ている結果となった。



経営上の問題点

内部要因としては、「受注量の不足」が48.2%で建設業に多く見られ、「人材の確保・育成」が40.8%、「販売力不足」が卸小売業で多く36.5%、「後継者育成」が25.9%、「新技術・商品開発力」が24.3%で製造業に多く見られた。
 一方、外部要因では、「同業他社との競争激化」がサービス業に多く見られ59.1%、「価格競争激化」が建設業で多く56.1%、30%以上の回答があった項目では「ガソリン等燃料の高騰」が続いた。

